

# 子供に好奇心、親に安心



娘を持つ母親ならではのアイデアも生かし、シリコン製知育玩具「ノシリス」の開発に当たった黒田弥生さん

四角がチョウに、三角がクローバーに……。表と裏をひっくり返したり、グニヤリと指で押さえたりすると、形が変わる不思議な玩具「ノシリス」。製品デザインを手がけるアイ・シー・アイデザイン研究所（大阪府守口市）が約1年をかけて開発、5月21日に同社のウェブサイトや大阪府下の百貨店などで販売をスタートした。

インテックス大阪（大阪市住之江区）で5月26、28日に開かれた「中小企業総合展2010」に出展したところ、来場者の反応も上々。価格は14個入りの1万5000円と、8個入りの6300円の2種類で玩具としては安くはないが、大手百貨店や幼稚園のバイヤーをはじめ、個人客からも問い合わせが相次ぎ、商品開発に当たった飯田吉秋社長

## 速行をつかめ！ ビジネス 最前線

とチーフデザイナーの黒田弥生さんは手応えを感じている。

商品名の「ノシリス」は英語の「silicon」を逆さに読んだ造語で、ひっくり返すことでいろんな形を見つめる楽しさを込めたという。ピンクや黄、青など優しい色合いのブロックは、子供の小さな手にも収まる約4センチ角の大きさ。弾力性のあるシリコンを触ることで、遊びながら手や指の発達を促す知育玩具としての機能がある。滑りにくく、バランスを保ちながら

一般的なブロック玩具のように積み上げて遊ぶこともでき、「子供の好奇心や想像力を刺激するはず」と飯田社長。チーフデザイナーの黒田さんも「大人の私には思いつかない形をつくるんです」と、ノシリスで遊ぶ一人娘の発想に驚かされることもしばしばという。

素材は、哺乳瓶や調理器具などにも使われ、万一、子供がなめても害のない「プラチナシリコン」を使用。製造は、自動車や医療機器などに使われる工業用ゴム・樹脂製品で実績を持つ錦城護謨（大阪府八尾市）に委託した。

やわらかな素材のため、体に当たったり踏んだりしてもけがの心配がなく、マンション暮らしで床や壁に当て、階下に響く音を気兼ねすることもない。汚れたら水洗いや煮沸消毒もできるなど「母親が安心して子供に与えられる玩具」と飯田社長は自信を込める。

触覚を刺激するという特性を生かせば、末梢神経が衰えがちな高齢者のリハビリにも使えるなど、活用の幅も広い。シリーズ第3弾では、浴室でも遊べるよう水に浮くシリコンを構想中。世代を超え、楽しさや幸せを作る玩具の夢はますます広がっている。（田村慶子）

アイ・シー・アイデザイン研究所「ノシリス」

CAFE  
ECONOMY

カフェ